

令和 7 年 5 月 31 日

令和 6 年度

土浦エコパートナー事業実績報告書

(報告先) 土浦市長
安藤 真理子 様

名 称 株式会社ジョイフル本田
所在地 土浦市富士崎一丁目 16 番 2 号

具体的な取組事項

項 目	具 体 的 内 容
省エネや地球温暖化対策活動	・ 不用時の照明消灯（継続実施） 照明の不要時消灯は継続して実施。そのほか店内各所の照度計測を実施した。これを基に明るすぎる場所の照度を調節。 ・ 空調温度を天候や気温にあわせて調節（継続実施） 省エネ管理ツール「エナッジ」を活用し過大使用をコントロールして電気使用量の抑制に努めている。 ・ 省エネ、エコにつながる商品紹介を推進（継続実施） リフォーム事業部では国策の住宅省エネキャンペーンに該当する 3 つの補助事業（子育てグリーン、給湯器省エネ、窓リノベ）を推進し省エネリフォームの訴求に努めた。 申請実績：219 件
公害や汚染の防止，ゴミの削減，リサイクルの推進	・ 不要な土の回収、再生（継続実施） 年間約 720 袋 1 袋 12 リットル換算 年間約 8,640 リットル回収 ・ オフィスのペーパーレスの推進（継続実施） 会議で使用する資料について、パソコンでの PDF ファイル閲覧を推奨。 ・ 分別収集の強化（継続実施） ビニール類の回収を強化。新たに廃プラスチック類（ビニール等）の適正排出に向け、新規中間処分業者（産廃処理委託契約）の締結が完了。新たな中間処分業者の起用により、リサイクル資源（RPF、Refuse Paper & Plastic Fuel、固形燃料）としての活用を推進を図る。 ＜回収実績＞ 25.1～25.4 期で 1,250kg（コンテナ 3 台分）

項 目	具 体 的 内 容
公害や汚染の防止，ゴミの削減，リサイクルの推進	・リサイクルステーションの活用推奨（継続実施） 回収実績、利用者数ともに増加 ＜年間回収実績＞ 前年 23.4～24.3 期 本年 24.4～25.3 期での比較 ペットボトル：269,290 本 → 332,746 本 124% アルミ缶：184,734 本 → 213,276 本 115% 古 紙：49,433 kg → 56,371 kg 114% 利用者数：32,636 人 → 36,083 人 111% ※利用者数はペットボトル・アルミ缶・古紙で重複あり ・家電リサイクル、小型家電、消火器、車バッテリー等の回収啓発（継続実施） 小型家電回収 BOX を家電売場から生活館入口付近のサービスカウンターへ移動し、回収 BOX の認知を図った。 ・木くずリサイクルの推進 木くずコンテナ 0.3 t を 36 回 約 10.8 t を回収 ・衣料品類のリサイクル BOX 設置予定（Ecommit） 衣料品類リサイクル BOX（エコミット） 設置日 24 年 7 月 22 日 設置場所 ホームセンター生活館トイレ&授乳室隣 回収実績 7 月～4 月 衣類 1955 kg 雑貨類 211 kg
地域社会の環境保全のための取組 （例：ゴミ拾い、敷地内緑化、景観の保護、里山の保全）	・財団法人 霞ヶ浦水質浄化推進振興財団への協力継続 ・町内清掃行事等への参加 5/25(日)と 6/1(日)に分かれて実施し 30 名が参加 当社従業員 ホームセンター 14 名 リフォーム 10 名 テナント従業員 ジャパンミート 2 名 AU 2 名 アスレチック 2 名 ・霞ヶ浦清掃大作戦への参加 2024 年 7 月 28 日 第 102 回大会 当社従業員 13 名 GOLD JIM 1 名 参加 

項 目	具 体 的 内 容																
地域社会の環境保全のための取組 (例：ゴミ拾い，敷地内緑化，景観の保護，里山の保全)	2025 年 3 月 2 日 第 103 回大会 当社従業員 10 名、GOLD JIM 1 名 参加 																
社員への環境教育や啓発活動の実施	・ゴミの分別、減量化および店舗周辺美化の意識教育 回収場所に POP を貼付しリサイクルできる木材、ビニールなどの周知をおこなった。また、社内案内ツールにてリサイクルできるものの回収場所を定期的に案内した。																
その他（アピール事項など）	・GX（グリーン・トランスフォーメーション）の取り組み 屋根置き太陽光発電の増設および蓄電池設置予定 設置対象施設：J2・ジャパンミート・屋内駐車場棟 稼働開始日：2024 年 7 月 26 日 パネル容量：333kW 発電量実績：225,000kWh（7/26～3/31） 蓄電池容量：194kW ※棟の総使用電力量の約 29%を再生可能エネルギーに置換 ※蓄電池による購入電力量の平準化および BCP 対応 ・社用車をハイブリット車へ更新（電動化移行への段階的措置） 乗用車タイプのガソリン・ディーゼル車をリース契約終了順にハイブリット車への更新をすすめた。本社と荒川沖の 60%を HV 化 <table><tr><td></td><td>2024 年 4 月</td><td></td><td>2025 年 4 月</td></tr><tr><td>非 HV 車</td><td>101 台</td><td>→</td><td>46 台</td></tr><tr><td>HV 車</td><td>0 台</td><td>→</td><td>68 台</td></tr><tr><td>《HV 率》</td><td>0%</td><td>→</td><td>60%</td></tr></table> ・土浦市役所環境保全課環境対策係の依頼で、リサイクルステーション横に『廃食用油回収 BOX』を設置。回収した油をバイオディーゼル燃料に加工し、活用していくという取り組み。		2024 年 4 月		2025 年 4 月	非 HV 車	101 台	→	46 台	HV 車	0 台	→	68 台	《HV 率》	0%	→	60%
	2024 年 4 月		2025 年 4 月														
非 HV 車	101 台	→	46 台														
HV 車	0 台	→	68 台														
《HV 率》	0%	→	60%														

(実績報告書)

※取組の写真等があれば添付をしてください。

※環境報告書または CSR 報告書があれば添付をしてください。

・ GHG (CO2) 排出量の推移

事業所	年度	2021	2022	2023	2024
荒川沖店	CO2 排出量 (t / CO2)	1489	1683	1384	1412
	2013 年度比	-8.0%	4.0%	-14.5%	-12.8%
	前年比	27.9%	13.0%	-17.8%	2.0%
	延床面積 (㎡)	31,759	31,581	31,582	30,514
	排出量原単位 (t / ㎡)	0.046884	0.053292	0.043824	0.046274
	2013 年度比	-23.1%	-12.6%	-28.1%	-24.1%
	前年比	27.9%	13.7%	-17.8%	5.6%
本社	CO2 排出量 (t / CO2)	137	120	93	102
	2013 年度比	-28.4%	-37.3%	-51.4%	-46.7%
	前年比	19.1%	-12.4%	-22.5%	9.7%
	延床面積 (㎡)	2,822	2,822	2,822	2,822
	排出量原単位 (t / ㎡)	0.048547	0.042523	0.032955	0.036145
	2013 年度比	-33.5%	-41.7%	-54.9%	-50.5%
	前年比	19.1%	-12.4%	-22.5%	9.7%

< 荒川沖店 >

猛暑の影響で電力と GHP 用都市ガスの使用量が前年より増加したこと、また系統からの買電の排出係数が上がったことで、CO2 排出量は昨年よりも増加した。

< 本社 >

猛暑の影響とテレワークの比率の低下で電力使用量が前年より増加したこと、また系統からの買電の排出係数が上がったことで、CO2 排出量は昨年よりも増加した。